

滋賀の高校生が選んだ！(令和2年度優秀作品)

しがはいすくーる おすすめ本50選

(著者名の50音順に並んでいます) (氏名の有無は本人の希望によります・学年は令和2年度当時のものです)

発行：令和3年6月 滋賀県教育委員会事務局生涯学習課



『サマーウォーズ』

若井 恭平 著
細田 守 原作
KADOKAWA/
角川文庫

人間vsコンピュータの、ハラハラさせるスピーディーな話の展開と、読み終えた後の爽快感が魅力。インターネット上の仮想空間が話の舞台。昔はその世界観が斬新で、読み取るのが難しかったが、この10年程で時代が話の世界に近づいていっていることに驚く。いつかコンピュータに支配される日がくるかもしれない。この本は、世界の危機に一致団結して戦う家族の姿を通して、家族の絆や人とのつながりの大切さに気付かせてくれます。

(甲南高校2年 久野 明輝さん)



『ウチら棺桶まで永遠のランウェイ』

Kemio
KADOKAWA

私が紹介する本は、SNSで大人気なKemioが出した『ウチら棺桶まで永遠のランウェイ』です。この本はKemioの小さい頃からの生き方が書かれています。幼い頃から女の子向けの物が好きだったりして、いじめをうけてきたけれど「私は私」という考えをしっかりともち、自分の人生を進んでいます。読んでるだけで元気をもらえ、自分は自分でいいんだと思えるのでとてもおすすめです。

(甲南高校2年 吉岡 悠妃さん)



『インスタ映える戦国時代』

スエヒロ 著
大和書房

「Yahoo! 知恵袋に相談する明智光秀」や「戦国時代のショッピングサイト 楽市・楽座」などの見出しで、スマホ画面の画像と共に歴史について学ぶことができます。一見私たちの生活とはかけ離れているように感じますが、大名同士のやりとりは、現代というLINEのようなものだったのだと思うと身近に感じる事ができます。まるで、戦国時代にスマホを利用するような感覚で読み進める事ができるので、とてもおすすめです。

(守山高校2年 川嶋 彩加さん)



『優しい死神の飼ひ方』

知念 実希人 著
光文社文庫

思い通りにいかない日々の中で、死期の迫った人間は何を心残りに思うのだろうか。この本の主人公レオは犬の姿をしているが、死後の人々の魂を「我が主様のもとへ導く死神」。ホスピスで働く奈穂に保護されたレオは、そこに入院する患者を次々に未練から救っていく。著者が現役内科医のため、リアリティのある描写も多く、ページをめくる手が止まらない。人間を下等だと考えていたレオの心変わり様子にも目が離せない。

(守山高校2年 桧垣 夢奈さん)



『死を見る僕と、明日死ぬ君の事件録』

古宮 九時 著
KADOKAWA/
メディアワークス文庫

「僕」は人の死を予告する幻影を見ることができる。また、「僕」は唯一過去の事故のことだけを覚えている。そして「僕」が死を予告した人は死の運命から絶対に逃げられない。この本はそんな僕が女子大生の「君」との出会いをきっかけに人の死の運命を変えていく物語です。物語終盤ではそれまで謎だった僕の正体が明らかに。次のページに進むときにドキドキしてしまう本なのでオススメです。

(守山高校1年 金子 皓史朗さん)



『少女』

湊 かなえ 著
双葉文庫

この本の主人公は人が死ぬ瞬間に立ち合いたいと考えている二人の女子高生です。二人は友人ですが互いにその思いは隠したまま、別々の方法で目的を果たそうと行動していきます。死をテーマにした物語には死ぬシーンが付き物ですが、この本の中では死ぬ瞬間は描かれていません。それよりも少女二人が周囲の人に対して思うことや心情の変化が細かく書かれており、人間の生々しさや死の重さをつきつけられるような作品だと感じました。

(守山高校1年 奥田 晴菜さん)



『人類 VS 感染症』

岡田 晴恵 著
岩波書店
(岩波ジュニア新書)

この本には、人々が感染症や伝染病と戦ってきた歴史が書いてあります。かつて、感染症を知らない人によって、誤解を受けた人々がたくさんいました。たとえばハンセン病だということでも収容所に入れられ、一般社会では死んだことにされた人々がいたそうです。ですがエリザベートという女性は患者に対して数々の慈善事業を行いました。このように患者を助けようとする人々もいたのです。人と人との命の温かさがわかる本だと思います。

(草津高校3年 寺田 拓矢さん)



『星の王子さま』

サン＝テグジュペリ 著
河野 万里子 訳
新潮文庫

本作は「大人と子供」が一つのテーマではないかと思いました。「本当に大切なものが見えていない大人」を繰り返し描かれている中で言われる鋭い言葉。私たちが「大事なこと」だと思っているものは、本当に大事なものと考えるさせられる内容でした。そして仕事や学校、暮らしに追われてる現代人の私たちに「本当」を知る心の余裕や時間を作ることの大切さを教えてくれる本だなと私は思いました。すごく心に響く本だと思います。

(能登川高校 2年)



『君の臍臓をたべたい』

住野 よる 著
双葉社

この本は、臍臓の病気によって余命宣言を受けている高校生、山内桜良と、桜良の病気について唯一知っているクラスメイト、僕の話。桜良の日記のような本『共病文庫』を僕が見つけたことから始まる2人のストーリー。余命宣言を受けた彼女と事実を知った彼がどのような生き方をしていくのか、命のあり方、大切さについて深く考え学ぶことのできる物語。また人との関わりなどについても新しい発見をくれる本だと思う。

(国際情報高校1年 垣見 ほのかさん)



『こころ』

夏目 漱石 著
新潮文庫

私はこの本をぜひ、高校生のうちに読んで欲しいと思います。人間関係の難しさ、自殺とは何なのか。主人公である「私」は学生なので、思いに共感できると思います。そしてまた、心についても考えさせられます。登場人物内で起こる出来事で1人1人の心情が文章に多く現れています。誰に共感して物事を見ていかで、感じ方の違う話になります。そして最後に分かる衝撃の事実。あなたは誰の気持ちに共感しますか？

(大津高校 3年)



『三日間の幸福』

三秋 隼 著
KADOKAWA/
メディアワークス文庫

自分の寿命に値段をつけるとしたら。百万、千万、一億、またはそれ以上と答える人も居るかもしれません。寿命の価値、というのは命の価値とあまり変わらないように思います。勿論価値なんてつけようがありませんが、もし価値を監査して、値段をつけられ、それを売ることができたなら。そしてその価値が自分の思っていたよりはるかに低かったら。これは自分の寿命1年につき1万円の価値をつけられた男の話です。

(能登川高校 2年)



『続ける脳 最新科学でわかった!必ず結果を出す方法』

茂木 健一郎 著
SBクリエイティブ
(SB新書)

この本は脳科学者の茂木健一郎さんが物事を続けることのメリットと続ける方法について述べたものである。偉人の成功体験や童話を具体例に挙げ、「続ける」という抽象的な事柄を分かりやすく解説しているの、読んですぐに実行できる。私が今、勉強や部活で悩んでいることの解決策をまさにこの本が提示してくれた。私と同じように悩んでいる学生はもちろん、すべての人に当てはめることができる、物事の成功へのカギが詰まった本だ。

(守山高校2年 藤本 千穂さん)



『夜のピクニック』

恩田 陸 著
新潮文庫

物語の主人公は高校3年生の2人の男女。お話は2人が通う高校の伝統行事を舞台として2人の視点が綴られていく。話が進むにつれて2人や、2人の友人たちが抱えている秘密などが徐々に明るみになっていく。高校生という多様な悩みを抱える時期だからこそ、この作品はとても共感でき、自分のモヤモヤとした気持ちを代弁してくれているようにも感じられる。長い間、読み継がれ、これからも読み継がれていく、永遠の青春小説。

(国際情報高校1年 大森 裕大さん)



『スマホを落としただけなのに 囚われの殺人鬼』

志駕 晃 著
宝島社文庫

この本は、自分の持っているスマホがどれだけ危ないものなのかを分からせてくれる本です。書名にもある通りスマホを落としてしまった、見られてしまった、それだけで大きな犯罪や事件に巻き込まれてしまう恐ろしさを改めて知ることができます。現代の社会ではスマホの普及率も非常に高くなっていくのでそういつか時にこそみんなに読んでほしいなと思いました。そしてスマホがどれだけ怖いものになるのか知ってほしいなと思いました。

(長浜北星高校1年 二矢 侑樹さん)



『砕け散るところを見せてあげる』

竹宮 ゆゆこ 著
新潮文庫

この本は高校3年生の清澄と高校1年生の玻璃の男女の物語です。正義感が強くヒーローにあこがれている清澄はある日じめられていた玻璃を助けます。そこから2人は仲を深めますが清澄は玻璃がある事件に関与していたことを知ります。玻璃が言った「2人死んだ」というのはどういう意味なのか。この物語の衝撃で悲しい2人と事件の結末に涙してしまおうと思います。ぜひ清澄と玻璃の運命を本で読んでみてください。

(守山高校1年 石井 愛夏さん)



『ぼくたちの家族』

早見 和真 著
幻冬舎文庫

脳のガンが母から見つかり、「余命一週間」と宣告される。母、父、息子2人の4人家族の物語。今まで家族として機能していなかった家族が一週間という短い期間の中で母を救おうとする。しかしそんな時に父の借金が暴かれる。その大きな苦悩を家族一人一人が自分にできることをして、家族一丸となって乗り越える心温まる作品。自分がもし母親や父親、息子たちの立場だったらどんなことができるだろうと考えさせられた。

(守山高校1年 田畑 愛優さん)



『夢をかなえるゾウ』

水野 敬也 著
文響社

この本はインドのガネーシャという神様が1人のサラリーマンの前に現れ、毎日1つずつ課題を出して男性を成功に導くという話です。しかし課題というのは本当に簡単なものばかり…。男性は本当に成功できるのでしょうか。この本を読み終える時、日々の生活から学べることも多く、1つ1つの積み重ねが大切だということを感じることができます。そして何より努力することは楽しいことであると思わせてくれる本です。

(守山高校1年 端山 菜南さん)



『ぼくは勉強ができない』

山田 詠美 著
文春文庫

「コイツ、勉強はできないけど、頭の回転は速いな」ってヤツ、たまにいません？主人公の時田秀美はそういうヤツです。勉強はできないけど、男から憧れられ、女からはモテる。一見、薄っぺらくチャライ高校生に見えるけど、実は自分の軸をしっかり持ち、小学生の頃に先生を論破しちゃうほど賢いヤツなのです。読んだあとは、柔軟な考えを持つ秀美にスカッとさせられるかも。高校生のうちに読んでおきたい一冊。

(守山高校1年 李 佳音さん)



『植物図鑑』

有川 浩 著
KADOKAWA

何も変わらない、同じ毎日を通していた主人公がある日、「お嬢さん、よかつたら俺を捨ててくださいませんか?」と言ってきた素性も知らない男を捨てたことによって変わっていく日常の物語です。物語に出てくる知識や言葉が印象に残ります。二人と一緒に過ごしていく日々が心温まり、少し切なさもあって読めば読むほど感情が豊かになります。この物語を読めばきっと沢山の人が日々の大切さや身近な人の大切さを感じます。

(草津高校 3年)



『小説 映画 聲の形』

川崎 美羽 著
大今 良時 原作
吉田 玲子 脚本
講談社
KC デラックス

最初に、この作品は定番の主人公とヒロインが協力して苦難を乗り越えるような物語ではない。主人公とその周りの人達との間で起こるコミュニケーションの悩みを描いた物語である。現在、周りの人との人間関係が悩みを抱えている人が、たくさんいるだろう。だからこそ、この作品を一度読んでみて欲しい。読み終わった時、自分や周りの人達の嫌な部分、許せない部分を少しでも許せるようになっていこう。

(守山高校 2年)

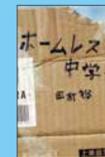


『バムとケロの もりのこや』

島田 ゆか 作・絵
文溪堂

この本はバムとケロが森にきいちごをつみに行き、古い小屋を見つけ、誰も住んでいない小屋をひみつ的小屋に修理するお話です。バムとケロがソレちゃんの協力を得てのんびりとひみつ的小屋を作る姿がとてもかわいく、カビだらけのお菓子を食べようとするケロが愛らしいです。絵も細かく、1人1人の行動や気持ちが読み取れて、絵もお話も楽しんで見れるような絵本だと思います。友達大切さや優しさ学ぶことができると思います。

(甲南高校2年 菅沼 莉央さん)



『ホームレス中学生』

田村 裕 著
幻冬舎
よしもと文庫

この本は芸人である麒麟の田村さんが、中学生の時に急にホームレスになってしまうというお話です。まだ中学生なのに、周りに迷惑をかけずに一人ががんばって生きていく姿にとっても感動しました。実際にあった話なので、現実でこんなことが起きることにびっくりする場面がたくさんありました。本当はしんどくて大変な話なのに、田村さんがおもしろおかしく書いてるので、とても楽しい本となっています。

(草津高校 3年)



『パラレルワールド・ラブストーリー』

東野 圭吾 著
講談社文庫

この物語は普通の恋愛小説と違い、パラレル世界をベースにしているため複雑になっており序盤は内容が理解できないまま物語が進んでいく。しかし、物語の後半になると、どんどん伏線が回収されていくため序盤に抱えていた謎が解けていく瞬間がとても面白い。また登場人物達の裏切りや憎さ、欲望など人間の本性が描かれているため自分と照らし合わせながら読むこともできる。読む度に新たな発見をすることが出来るので是非読んで欲しい。

(国際情報高校2年 久保 結菜さん)



『豆の上で眠る』

湊 かなえ 著
新潮社

小学生の夏、お姉ちゃんが消えた。その、まるで神隠しのような事件には秘密があった。十三年の年を経て大学生になった妹である主人公が、あることをきっかけにして、深い深い当時の事件の様子を思い出し、真相を確かめるそんなお話です。本のタイトル、『豆の上で眠る』はグリム童話が元となっていて、読み終わったあと、タイトルの意味がわかります。最後の主人公の問いかけ、「本もって何ですか。」がとても切ないです。

(八幡商業高校1年 尾崎 莉那さん)

ポスターは2種類あります。
もう1種類は「におねと」の子ども読書活動支援センターに掲載しています。
ぜひご覧ください。



HPはこちら